

# 外国人介護人材確保の取組

静岡県健康福祉部福祉長寿局  
介護保険課

# 外国人介護人材を取り巻く課題

## ○受入れ環境の整備に伴う新規就業等の促進

- EPA介護福祉士(候補者)
- 外国人留学生⇒在留資格「介護」
- 技能実習生
- 特定技能外国人
- (定住外国人)

# 静岡県外国人介護職員の状況

## ○外国人介護職員就業状況調査

- ・調査基準日 毎年10月1日
- ・調査方法

- ①県内介護施設等に同時メール配信システム等で調査依頼（政令市にも周知依頼）
- ②県ホームページ上に調査票を掲載
- ③電子メール又はFAXにより回答

# 平成30年度調査の結果の概要

- 回答数 1, 566 (回答率26. 6%)

雇用事業者数	183(161)
雇用人数	326(277)
1事業所当たり雇用人数	1. 78(1. 72)

\* ( )内はH29調査の結果

○現状、大多数が定住外国人

○国籍別の上位3か国

⇒フィリピン、ブラジル、ペルー

# 事業所の課題認識

- 「日本語読解力等」が最多(5割強)
- 一方、3割以上が「課題なし」

課題	割合(%)
日本語読解力等	56.3(51.6)
会話等	20.2(21.1)
習慣等	7.1(6.8)
課題なし	33.3(34.8)

\* 複数回答可

# 事業所の雇用意向

- 未雇用事業所中、38事業所が「雇用予定あり」
- 約6割が雇用に前向き

雇用意向	事業所数
雇用予定あり	38( 13)
予定はないが、雇用してみたい	874(805)
雇用予定なし	471(448)

# 受入れ促進に係る課題

○各種受入れ制度の理解

⇒人材の「確保」+「育成」の観点の重要性

○雇用のノウハウ等の理解

⇒文化、習慣、宗教、価値観等の相違

職員間の意思疎通 ほか

○日本語能力などの資質向上（研修等）

○職場や地域への定着支援

# 静岡県的主要な取組

- 受入れ準備セミナー(制度紹介や事例発表)
- 雇用上の不安等の解消に向けて、  
コーディネーター(専門家)が事業所を訪問
- 日本語学校生らに介護の仕事を理解してもらうため、介護施設と養成施設の見学ツアー
- 日本語読解力向上研修(集合型/訪問型)
- EPA介護福祉士候補者への学習支援
- 技能実習生等の集合研修等(国の新制度)



# 今後の検討課題

- 新規就業の促進(介護福祉士養成施設への入学者減少への対応)
  - ⇒若年層をはじめ保護者や教員等に対する介護の仕事の理解促進に加えて、外国人留学生への支援
- 定着促進(仕事や生活面の不安解消)
  - ⇒相談対応や外国人の地域コミュニティ形成に向けた取組